

# 夢とビジョンが宝

日本語の「夢」には実現しない、はかないの意味がある。答えのない問を問いつける意志の力と、魂の声を聞き夢とビジョンを語る魂は思想であり、思想は未来を予見する方法でもある。そこから希望やビジョンが生まれます。

成長を求める心が、人にしろ本にしろ、出会いの「縁」が運を引寄せます。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

## 事務所便り

2014年9月16日 (火) NO 366

地域から明るい未来を作ろう

誰でも自分の直感で求める時、それは「恋」なのかもしれない。

思い立つたら吉日、心の熱さを失いたくないものです。未来を予見する事無くして、夢とビジョンを語ることはない。即ち、時代の流れと本質的変化を、自分で予見することがどうしても求められます。

人生は一度切り、若きS・ジョブスがインドを放浪したように時空を超え、自分を信じ行動する価値がある。

良くマネジメント(考え方)で木を見て森を見ず」と言われますが、意思決定に森の「大局観」が必要となります。

また決断は直前に、理性でなく感性の直感に従う。物事を必死で取り組む必死は必ず死ぬと書きます。実際死ぬまで生きるのですから、結局生き方が問題になります。

いったい夢とビジョンを失って、必死に生きる意味があるのでしょいか。単に生きる為に生きるのでしょうか。それは次の「成長」のため、最

最終的にマネジメントが「美醜」の領域に外ならないでしょう。必死の「死生観」が問われます。矛盾の両極端に對峙することで、常に心身に葛藤があるのが普通です。

現代は答えのない問いを問いつける力と、「朝令暮改」の精神力等、器の大きい想像力が求められています。

## リーマンショック以来の落込み

内閣府が8日発表した4～6月期国内総生産(GDP、季節調整済み)の第2次改定値では、物価変動の影響を除いた実質で前期比1.8%減、年率換算で7.1%減となり、8月発表の速報値(前期比1.7%減、年率6.8%減)から更に下方修正された。企業の設備投資が5.1%減と速報値(2.5%減)から悪化したのが主因。実質成長率は2四半期ぶりのマイナス成長で、下落幅はリーマン・ショック後の2009年1～3月期(年率15.0%減)以来の大きさとなつていきます。景気後退は国民生活を直撃し更に二極化が強まります。政府の政策(財務省)責任でありませぬ。財務大臣や日銀を始め長雨など適当な理由を付けています。

## 素早い対応と処理の追求

先月NHKTVで自閉症

を扱った番組がありました。

東田直樹(22歳)さんです。大変良くできた番組です。

反射的に以前話題になった「佐村河内守」番組を思い出しました。当時の映像でサングラスに隠れ

表情、目を見ることはできませんでした。当時視聴してNHKへの思い込み?疑うことすらしませんでした。編集者の頭の中をいったん通った映像からは、真実の偽証を見抜

けなかつたのです。

さてこの番組は多くの自閉症に対する社会の偏見を、一挙に払しょく出来る力のある番組でした。多分ですが海外でも何かの賞に値す

ものが無限にあります。本人の書いた絵も素晴らしいものです。

翻訳され世界に反響を呼んでいる本は7年前、中学生の時に書いた「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」です。

## 僕が飛び跳ねる理由

すでに絶版ですが図書館にあり、予約しましたが順番待ち、今年中に読むのが無理なようです。

本人の言葉を紡ぐ感覚それ自体が次元を超え、いたわりの優しさが感じ伝わる

再放送もあるようです。

